

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.2

敦賀市のコミュニティバスについて

2015年3月議会において、コミュニティバス再編計画について質問させていただきました。

全国的に、交通事故件数自体は年々減少しているものの、高齢ドライバーによる交通事故件数は増加傾向にあります。そんななか、高齢者が加害者になる交通事故を減少させるため、敦賀市においても「運転免許自主返納支援事業」を実施しています。満65歳以上の敦賀市民の方を対象に運転免許を返納していただくとバス及びタクシーの利用券20,000円分をお渡しするというものです。

しかし、せっかく免許を返納していただいても、自家用車に代わる公共交通機関が不便であっては、普段の生活に大きな支障をきたしてしまいます。

敦賀市における公共交通機関とりわけコミュニティバスは、市民の皆様の貴重な移動手段であり、多くの高齢者、障がい者の方にとっては唯一の移動手段であります。

敦賀市がよりよいコミュニティバス運行をおこなうことは、市民の皆様にとっても大きな利益であります。そして、コミュニティバスの再編計画は敦賀市にとって、とても大切な事業であります。



市民の皆様のためのコミュニティバスであるために

私は、出来る限り公共交通機関を使って移動することを心がけています。特にコミュニティバスは積極的に利用させていただいています。自宅近くの正田バス停から乗車するバスは、JR敦賀駅まで向かう途中のバス停でお客様を乗せ、白銀町バス停で多くのお客様がバスを降ります。なぜJR敦賀駅バス停でなく、ひとつ前の白銀町バス停で降りの方が多いのか! それは市立敦賀病院に行かれる方が多いからです。それならば市立敦賀病院まで直接行くことができるバスがあればいいのではと考えるのは当然ですが、現状でも1億1千万円以上の赤字を出しているコミュニティバスでは、そこまで予算をかける訳にはいかないという敦賀市の現状もあります。

それならばできることからやっつけていこう!

市長からは、「限られた予算のなかで市民にとって大切な公共交通機関を守っていきたい。」という言葉をいただいています。

とは言っても、空気バス(乗客のいないバス)をそのままにはできませんし、コミュニティバスの便を大幅に増加させるのは難しい点もあります。必要な便はそのまま残し、新たに必要になる便は追加し不要な便は削っていく、そんな市民の皆様がより便利に利用できるコミュニティバスであるために、一人でも多くの市民の声が反映できればと思っています。

しかし、敦賀市が実施したコミュニティバスに関するパブリックコメントで、市民の皆様からいただいた声は54件、各地区を市の担当課が回ったコミュニティバス再編計画の説明会においても、地区によってはほとんど参加者がおられないという状況もありました。

今年度10月には、今までいただいた市民の皆様の声を反映して、再編後のコミュニティバスの試験運行が始まります。

私は、子どもたちや高齢者といった交通弱者の方が、もっと気軽に便利にコミュニティバスに乗車できないか、ということをもいつも考えています。

デマンド交通って?

今回の再編で、東郷地区・愛発地区・東浦地区においてデマンド交通が試験運行されます。デマンド交通とは、電話等で予約をして小型車両(ワゴン車等)を呼ぶシステムです。予約の煩わしさはありますが、小型車両になることで、これまで集落中心部から停留所まで相当な距離があり、コミュニティバスを利用したくても利用が困難であった山間部集落(越坂、奥野、田結等)への乗り入れが可能になります。また空気バス(乗客のいないバス)が無くなる等のメリットもあります。

このデマンド交通については、今までと異なる運行方法に戸惑う市民の方も多いかもかもしれませんが、利用を促進している市町もあり、今後10月から1年間の試験運行のなかで、利用者である市民の皆様の声聞かせていただきながら改善していきます。市民の皆様を市政に届けることが大切ですので、運行前でも運行後でも構いません、是非、皆様声を聞かせていただけたらと思っています。



9月定例議会：一般質問

学校給食の充実について

2015年12月定例会「給食の質の向上について」の一般質問に引き続き、2016年9月定例会においては、「学校給食の充実について」を質問させていただきました。

2016年2月、学校給食のより一層の充実を図るために、学校給食に関するアンケートが実施されました。アンケート結果からは、安全な食材の使用、多彩なメニューの導入を期待する声が多く聞かれました。

また、「学校給食のご飯、みそ汁の回数を週2.5回から週4回に増やしてください!」との請願、敦賀市在住の保護者、子どもたち、祖父母も含めた568名の署名を受け取り、一般質問に挑みました。

老朽化した敦賀市学校給食センターの建て替えによって、学校給食がより充実されることを強く望みますが、署名を受けた学校給食の米飯化に向けては、現在、福井市等でおこなっている、民間の会社が炊飯業務をおこなう委託炊飯によって、週4回の米飯化に向けた取り組みについて

提案させていただいています。

敦賀市の学校給食は、学校給食センターで調理をおこなうセンター方式と、それぞれの学校で調理をおこなう自校方式の2通りがあります。

以下、敦賀市のホームページから引用させていただいたセンター方式を採用する学校と、おかずは自校で米飯のみセンター方式を採用する学校の一覧です。



副食・米飯対象校	米飯のみ対象校
敦賀西小学校	敦賀南小学校
敦賀北小学校	栗野南小学校
中央小学校	気比中学校
中郷小学校	松陵中学校
栗野小学校	
角鹿中学校	
栗野中学校	
敦賀北幼稚園	
小学校5校、中学校2校 幼稚園1園	小学校2校、中学校2校

12月定例議会：一般質問

障がい者福祉について

2016年12月定例会では、「障がい者福祉について」質問させていただきました。

(1) 敦賀市の障がい児の現状と課題

- ・障がい児数の現状と背景
- ・障がい児の保育園受け入れ状況と課題
- ・放課後等デイサービスの現状

(2) 敦賀市の障がい者福祉の今後

- ・特別支援学校の今後（廃校利用として支援学校を誘致できないか）
- ・福祉施設誘致の可能性（提案）について市の見解
- ・障がい福祉における民間事業者の参入（提案）について市の見解
- ・福祉施設入所者の地域生活等への移行について市の見解

(3) 障がい者の就労（働く意欲をもつ人が働ける社会づくり）

- ・障がい者雇用促進の現状と課題
- ・どのようにアセスメント期間を定めているのか
- ・ジョブコーチ等を活用した就労に向けたネットワーク構築の必要性（提案）について市の見解

一般質問をおこなう際に提出する発言通告書の形式をそのまま掲載させていただきました。

今回の一般質問も、敦賀市の支援学校、支援学級に通う生徒・児童の保護者、療育を受けている未就学児の保護者44名の方々から、私にご意見をいただき、皆様の声を代弁させていただきました。

一般質問の最後に、障がいのある子が生まれ、乳幼児から児童へと学校へ通い就職をする。このように障がい者が育ち働いていく過程で、敦賀市は長期的にどのように障がい者をサポートしていくのか市長の見解を伺いました。



障がいのある方が描いてくれた私の似顔絵です。

市長からは、**出産から就職**というところまで幅広く応援しなくてはならないと思っております。障がい者の方たちが安定して働き続けられる地域をつくり上げていくことが我々行政に携わる者の責務であり、**力強くバックアップ**していかなければならないと考えています、と答弁をいただきました。

障がいのあるお子さんを持つ保護者の方からいただいたご意見を紹介させていただきます。

60歳くらいの障がい者に、母親らしき人が買い物について歩いているのを見た時、敦賀の将来はどうなるのかと思った。

とのお言葉をいただきました。

障がいのある子を、高齢になっても面倒を見続けている光景に映るのではなく、いくつになっても親子で買い物をしているほほ笑ましい光景に映っていただけよう、敦賀市の障がい福祉の未来を明るくするために取り組んでいきます。

編集後記

敦賀市の議員にならせていただいて約2年間、議員活動をおこないながら、障がいのある方の就労継続支援A型事業所で、障がいのある方々と共に働いてきました。

また、息子たちが通う小学校のPTA会長として、敦賀市のPTA、福井県のPTAの活動を通して、子どもたち、教職員の方々と真剣に向き合ってきました。

これまで培った経験を活かして、これからも敦賀市のために働かせていただきます。皆様どうか宜しくお願い致します。

豊田こういちレター Vol.2

2017年2月20日発行

発行責任：政志会 編集責任者：豊田耕一

(この広報紙は政務調査費で発行しています)

討議資料

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員 **豊田 耕一**

〒914-0302 敦賀市疋田41号10番地 TEL.090-7116-9049

E-mail : artracing@me.com

ブログ : <http://ameblo.jp/artracing>

豊田耕一

検索

